

超精密とメカトロメーションを追求する
Seibu

第76期
第2四半期
株主報告書

平成20年4月1日から平成20年9月30日まで

西部電機株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第76期第2四半期累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成20年12月



取締役社長 吉任一成

業績の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な景気減速の影響を受けて内外需とも停滞感が強まる中、米国金融市場の混乱が世界に広がるなど、さらに混迷度を増していくという経過を辿ってまいりました。

この様な情勢の中で、当社グループは新商品の開発、提案型営業の積極的展開、品質ならびに生産性の向上、さらにはコストダウンや経費の削減に全社を挙げて努力してまいりました。その結果、当社グループの連結業績は、前年同期には大口物件の成約があったことや輸出の減少などの影響によって、受注高は86億3千8百万円（前年同期比16.6%減）、売上高は76億6千3百万円（前年同期比2.8%減）となりました。また、利益面では、原材料価格の高騰などによって売上原価比率が上昇し、経常利益は4億5千6百万円（前年同期比22.2%減）、四半期純利益は2億4千3百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

今下半期のわが国経済は、世界的な景気後退により、さらなる輸出の減少や設備投資の圧縮などから企業収益の悪化が予想され、厳しい状況が続くものとみられます。

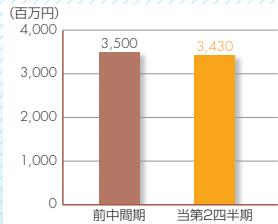
当社グループといたしましては、さらに企業体質を強化するために、変化する経済環境を十分に認識いたし、景気に左右されないオンリーワンの新商品の開発と、これらの市場投入による受注・売上の拡大、コストダウンや経費の削減に一層注力いたす所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

部門別売上状況（連結）

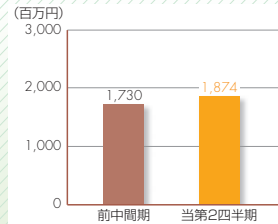
【搬送機械部門】

搬送機械部門では、国内の設備投資に戸惑いがみえる中、既存顧客からのリピート受注、小型自動倉庫や製造業の生産・物流分野などにも既存のピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。その結果、受注高は、前年同期には海外からの大口物件の成約があったことの影響もあり、41億8千7百万円（前年同期比28.6%減）となり、売上高は、納期のズレなどにより、34億3千万円（前年同期比2.0%減）となりました。



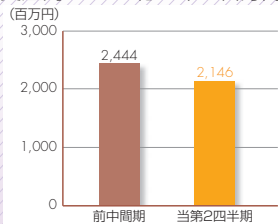
【産業機械部門】

産業機械部門では、公共投資抑制の影響を受けるなど厳しい環境の中、新商品の市場投入による民間需要の掘り起こしや既存市場におけるシェアアップに注力いたしました。その結果、上下水道・鉄鋼・電力市場のリプレイス需要やサービス・メンテナンスなどが好調に推移し、受注高は21億9千5百万円（前年同期比13.4%増）となり、売上高も18億7千4百万円（前年同期比8.3%増）と増加いたしました。



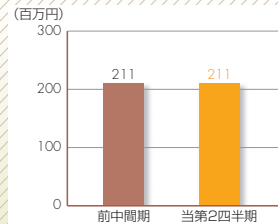
【精密機械部門】

精密機械部門では、プライベートショーなどを積極的に行い知名度アップを図り、新規顧客の開拓に注力するとともに、放電機械は、半導体やデジタル家電向け、工作機械は、光学・自動車・IT・エコ部品加工市場などに拡販を行ってまいりました。しかしながら、東南アジア向け輸出の需要が減少し、受注高は、20億6千2百万円（前年同期比14.3%減）となり、売上高は、21億4千6百万円（前年同期比12.2%減）となりました。



【その他の部門】

その他の部門では、立体駐車装置などの拡販を図ってまいりました。その結果、受注高は1億9千2百万円（前年同期比25.9%増）、売上高は2億1千1百万円（前年同期比微減）となりました。



トピックス

「ピース仕分け装置 種まきブーメランシステムの機能強化」 -マテハン事業部-

マテハン事業部では、日配品などピース品の仕分け市場向けに、従来にない革新的な商品、「ピース仕分け装置 種まきブーメランシステム」を開発してきました。今回、このシステムにピッキングロボット、出荷段積み・カート供給機を組み込んだ商品開発を行いました。少子化による労働人口の減少、昨今紙上を賑わしている食の安全に対して、問題解決の一助を担う新商品となりました。ロボットでできることはロボットで行い、人を排し自動化を進めることにより安全かつスピーディな仕分けが可能となり、出荷口に出荷段積み・カート供給機を配したことで、さらなる省人化が可能となりました。

このように、他社と完全差別化できる特長を持った「ピース仕分け装置 種まきブーメランシステム」は、今後の受注が大いに期待できます。



「ピース仕分け装置 種まきブーメランシステム」

「チェーン式ゲート駆動装置Semflex®-Cシリーズ」 -産業機械事業部-

産業機械事業部では、ゲート市場向けに「チェーン式ゲート駆動装置Semflex®-Cシリーズ」の開発を行いました。基本構造は、Semflex®-LPシリーズの特長「軽量・コンパクト・高速」を引き継いでいますが、出力にラック棒を使用しないため、「上部への突出がなく、景観を損なわない」という特長が加味された新シリーズです。また、駆動装置の給油は1箇所集中で安全性を改善し、チェーンはワイヤーロープの様に磨耗防止の給油やロープの伸びによる定期的な調整を必要としないため維持管理が容易になり、ライフサイクルコストが縮減できます。機能としては高速運転（通常速度の2~3倍）による緊急開閉が可能で、特にストロークの長いゲートにおいては開閉時間の短縮に有効です。また、芯間が長いものは単動形2台を同調運転させることで連結軸が不要になり、面倒な芯合わせもなくなります。さらに従来はチェーンの緩み検出を機械式に行っていましたが、同シリーズではサーボモータの電流検出にて行うことができるのも特長の1つです。ワイヤーロープ式駆動装置の置き換えとして市場ニーズが増加しており、今後の拡販が大いに期待できます。



「チェーン式ゲート駆動装置Semflex®-Cシリーズ」

「M50A」(高精度ワイヤ放電加工機) -精密機械事業部-

精密機械事業部の放電機械関係では、客先の要望を取り入れた、高精度ワイヤ放電加工機「M50A」を開発いたしました。この機械は好評を博した「Mシリーズ」をベースに、さらに高性能、省スペース化を実現しました。開発の特長としましては、

- ①加工槽に上下スライド扉を採用。
- ②省スペース化を実現。(当社比：M500S機に対して、設置面積比で35%減)
- ③環境に配慮し、新型加工電源の開発で消費電力を最大で23%削減。
- ④最新鋭のCNCを搭載し、処理能力が向上。

さらに、大型ディスプレイ(15インチ)の採用により、操作性と表示情報量を一段と向上させました。



「M50A」

「Super MM500S」(高精密ワイヤ放電加工機) -精密機械事業部-

同じく精密機械事業部の放電機械関係では、高精密ワイヤ放電加工機「Super MM500S」を開発いたしました。この「Super MM500S」は当社が世界で初めて、CNCワイヤ放電加工機を発表して依頼、36年間、加工精度の確保を「メカ精度」に求め、追求してきた歴史の中で過去最高の精度を誇る機械であります。直角度精度、ピッチ精度もサブミクロンの精度を誇り、パンチ加工においても、t 60mm、t 100mmの加工精度は形状精度、タイコ量も含めて全て1 μ 以内の精度を実現しました。この新型2機種の開発により、さらなる拡販が期待されます。



「Super MM500S」

国際物流総合展 2008

■会期 平成20年9月9日(火)～9月12日(金)
■会場 東京国際展示場(東京ビックサイト)

「未来を創造するロジスティクスイノベーション」人と環境にやさしい物流システムをメインテーマに国際物流総合展2008が開催されました。

今回、当社では新しい仕分けシステム「ピース仕分け装置 種まきブーメランシステム」を出展し、コンパクトなケース・ソーターとデジタル表示システムの組み合わせに、ロボットによるピッキングを加え、ピース単位での多品種少量の仕分け、荷揃えを従来に無い少人・省スペースで行うことができる全く新しいソリューションに、業界関係者より大好評をいただきました。



2008 名古屋水道展 (第42回水道資機材展示会)

■会期 平成20年10月29日(水)～10月30日(木)
■会場 名古屋市国際展示場(ポートメッセ名古屋)

「水道の安全は、社会の安心です。計画的な更新を！」をテーマに名古屋水道展が開催され、当社はSemflex[®]-VM、VPタイプバルブアクチュエータ(PROFIBUS対応タイプ)のデモシステムを構築し展示発表いたしました。

当社ブースには約250人來客され、新型機の性能、導入事例・仕様などについて関心を示されるお客様も多く、近年の水道展にはない反響をいただきました。



JIMTOF 2008 (第24回日本国際工作機械見本市)

■会期 平成20年10月30日(木)～11月4日(火)
■会場 東京国際展示場(東京ビックサイト)

本展示会は米国国際工作機械展(IMTS)、欧州国際工作機械展(EMO)とともに、世界の三大工作機械見本市に数えられており、当社は、大幅な省スペースと省エネを実現した最新CNC搭載の新商品、高精密ワイヤ放電加工機「M50A」、匠の技「きさげ」によって、さらに高品質を造り込んだ高精密ワイヤ放電加工機「Super MM500S」、研削+ 切削+ 計測の複合化を高い時点で実現し、外径・内径・端面・テーパ・ストレートをOneチャックで、自由形状研削加工を可能にした高精密小型研削加工機「SNC-28TG」を展示しました。



連結財務諸表（要約）

■ 第2四半期連結貸借対照表

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	第76期第2四半期	第75期	第75期中間期
	平成20年9月30日	平成20年3月31日	(ご参考) 平成19年9月30日
(資産の部)			
流動資産	11,363	14,007	13,269
固定資産	11,560	12,380	12,613
有形固定資産	8,368	8,278	8,145
無形固定資産	21	21	19
投資その他の資産	3,170	4,080	4,447
資産合計	22,923	26,388	25,882
(負債の部)			
流動負債	5,295	8,433	8,036
固定負債	3,838	3,971	4,043
負債合計	9,134	12,404	12,080
(純資産の部)			
株主資本	10,413	10,326	9,809
資本金	2,658	2,658	2,658
資本剰余金	2,502	2,503	2,503
利益剰余金	5,528	5,415	4,893
自己株式	△ 276	△ 251	△ 245
評価・換算差額等	3,376	3,657	3,992
純資産合計	13,789	13,983	13,802
負債・純資産合計	22,923	26,388	25,882

■ 第2四半期連結損益計算書

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	第76期第2四半期	第75期	第75期中間期
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	(ご参考) 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
売上高	7,663	18,971	7,887
売上原価	5,760	14,066	5,851
売上総利益	1,903	4,904	2,035
販売費及び一般管理費	1,486	3,193	1,482
営業利益	416	1,710	553
営業外収益	57	103	43
営業外費用	17	21	10
経常利益	456	1,793	586
特別利益	1	2	2
特別損失	20	277	73
税金等調整前四半期(当期・中間)純利益	437	1,518	515
法人税、住民税及び事業税	57	561	33
法人税等調整額	137	75	185
四半期(当期・中間)純利益	243	880	295

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円
(金額は単位未満を切り捨てております。)

科 目	第76期第2四半期	第75期	第75期中間期
	平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで	平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで	(ご参考) 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,368	△ 58	△ 1,488
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 334	△ 1,457	△ 772
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 159	△ 159	△ 90
現金及び現金同等物の増減額	△ 1,861	△ 1,675	△ 2,351
現金及び現金同等物の期首残高	4,281	5,957	5,957
現金及び現金同等物の四半期末(期末・中間)残高	2,420	4,281	3,606

会社の概況・株式の状況 (平成20年9月30日現在)

■ 会社の概況

- 商号 西部電機株式会社
- 英 訳 名 Seibu Electric & Machinery Co.,Ltd.
- 本店所在地 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
- 設 立 昭和14年2月1日
- 資 本 金 26億5,840万円
- 従業員数 441名 (連結482名)
- 役 員

取締役社長 (代表取締役) 吉 住 一 成
 専務取締役 局 杉
 常務取締役 内 野 健 二
 常務取締役 宮 地 敬 四 郎
 取 締 役 大 串 秀 文
 取 締 役 木 村 馥
 取 締 役 藤 岡 敬 正
 取 締 役 木 谷 泰 博
 取 締 役 中 里 晋 也
 常勤監査役 平 塚 皓
 監 査 役 清 水 喜 文
 監 査 役 小 西 正 純

(注) 監査役清水喜文、小西正純の両氏は社外監査役であります。

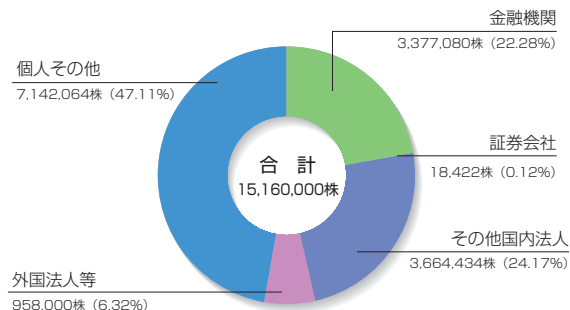
■ 株式の状況

- 発行可能株式総数 32,980,000株
- 発行済株式の総数 15,160,000株
- 株 主 数 1,629名
- 大 株 主

株 主 名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
株式会社安川電機	2,630	18.65
株式会社三菱東京UFJ銀行	650	4.61
株式会社福岡銀行	633	4.49
みずほ信託銀行株式会社	626	4.43
株式会社西日本シティ銀行	589	4.17
西部電機従業員持株会	420	2.98
エスジーエスエス/エスジーピーティ ルクス	407	2.88
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	344	2.43
村上 博	215	1.52
日本生命保険相互会社	152	1.07

(注) 1. 当社は、自己株式1,058,264株を所有しております。
 2. 出資比率は自己株式 (1,058,264株) を控除して計算しております。

●所有者別分布状況



総精度とメカトロメーション®を追求する

Seibu

■株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	
定時株主総会	毎年6月	
単元株式数	1,000株	
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。	
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。	
公告方法	電子公告により、当社ホームページ (http://www.seibudenki.co.jp/) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。	
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。	
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
郵便物送付先	平成20年12月30日まで 〒135-8722 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部	平成21年1月5日より 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先 (フリーダイヤル)	0120-288-324 (変更ありません)	
取次所	(株主名簿管理人取次所) みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店	(特別口座管理機関取次所) みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
株式取扱手数料	名義書換 無料	一(株券が電子化されるためなくなります)

【お知らせ】

平成21年1月より株券が電子化されます。そのため株式に関するお手続に変更がある場合がございますのでご注意ください。詳しくは、上記「電話お問い合わせ先」にお問い合わせください。

なお、証券会社などをご利用の場合は、住所変更や買取請求などは引き続きご利用の証券会社などへご連絡願います。未払配当金については、上記「電話お問い合わせ先」にお問い合わせください。

ホームページのご案内



<http://www.seibudenki.co.jp/>